

京都教区時報

第154号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

特集・現勢調査報告書

超越 — 愛の勝利を信じて —

松本秀友

主・イエズス・キリストの御復活おめでとうございます。皆さんはどんな気持ちで今年の復活祭をお迎えになったでしょう。私は小教区で四旬節中、通いの黙想会(日々の霊操)のお手伝いをさせて頂き、一人一人の超越に触れさせて頂きました。週一度の個人面接で一週間の動き、気づきなどを分かち合っさせて頂き、また次の一週間祈るためのみことばや課題を与えるというやり方です。この体験を通して私はお一人お一人がその人生の途上において、古い人に死んで新しい人に復活するようにとの主からの呼びかけを受けておられることを感じます。私たちの主・イエズス・キリストが私たち一人一人を愛して十字架にその命をささげて下さったので、御父はイエズスを復活させて下さいました。それで復活は愛の勝利であると言うことができます。イエズスの死と復活すなわち超越によって私たちの超越も可能になったのです。私たちの超越は終りの日だけでなく、古い人に死んで新しい人に復活する超越は今すでに始まっているのです。田中司教様は今年の

四旬節教書で「古い人としての生き方から回心してキリストのまなざし、生き方、ふるまい方への回心」について書いておられます。このような回心、超越を可能にするのはイエズスの超越において現れた神の無条件の愛です。この愛を信じることなしに私たちが自分の弱さ、みじめさ、古い人の生き方に直面することは私たちが失望と挫折に陥らせてしまうのではないのでしょうか。個人的な超越について考えてきました。が共同体的な超越についても同じことが言えると思います。例えば教区優先3課題、青少年の問題、パイプのつまり、適正配置などの取り組みにおいても様々な困難にぶつかって、投げ捨てたくなる時もあることと思います。神のみに心になった在り方を創り上げていくことはいつも一つの超越です。私たちがイエズスの超越における神の愛にとどまり、愛を動機に言動していくなら、エマオに向かう弟子たちと共に歩んで下さった主が必ず私たちと共に歩んで下さり、支え、導いて下さることでしょう。神の業は愛の勝利を信じる人を通して実現されるからです。神の愛がすべてにおいて必ずやりますように。アーメン。

(西院教会主任司祭)

司祭評議会定例会議報告

3月5日

審議事項

1 司祭・修道士研修会(8月20日、22日について)

場所 三重県湯の山ヘルシーバル

2 司祭の人事について

▼他の教区の人事異動について
横浜教区(3年に1度大異動をする)以外は、はつきりしたものがない。

▼それぞれ意見を出し合いました。

3 司祭の役割分担について

司祭の負担を軽くするために、社会福祉法人と学校法人の理事長を他の司祭にまかせるよう、司教に上申することを決議する。

4 ナイス以後の教区としての取組みについて

▼やってきたことの確認

アジア交流委員会、青年センター、結婚準備セミナーなど、新しい動きができてきている。ほかに、ナイス以前から取り組んでできていることで大切な動き

がたくさんある。

▼浸透させること

▼教区レベルでの具体的取組み、については、以後継続して話していくことになりました。

5 小教区の建物の建設について教区レベルで考える

これについて、各グループで話し合い次回取り扱うことになりました。

次回 5月10日

おめでとう助祭誕生

北村善朗助祭

3月25日(日)に助祭叙階を受けられました。あと一年東京神学校で勉強に励まれます。みなさまお祈り下さい。



1989年の教区現勢、統計について

1、昨年からの報告形式が改められて項目が少し減りました。毎年大変な労苦を使ってお送りしています。日本語のものとラテン語のもの(バチカンと外国に送るための統計)とは項目の分け方が少し違いますので、必要に応じてご利用ください。

2、京都教区の概要(昨年との比較)

①京都教区の面積 108・57㎡減 総人口 43、191人増

②京都教区信徒総数 517人減(2・7%減)

教区内総人口との比 0・29%

信徒男女比 男 39・5%(2/5) 女 60・5%(3/5)

③求道者数 20人減(7・2%減)

3、ミサ出席比(ミサ出席数・信徒総数)

①通常の主日 29・7% 復活祭 53・9%

②クリスマス・ミサ 通常の主日の2・26倍

クリスマス・ミサは、市民クリスマスなどでミサに参加する人が多い。また教区内の各地区で殆ど同じ倍率になっている。

4、結婚式

①カトリック信者でない他宗教の人同志の結婚(29組・61%)

カトリック信者同志の結婚 (23組・5%)

カトリック信者と他宗教の人との結婚 (15組・34%)

②結婚式は都市部の教会が多く、特に京都市南部地区が教区全体の結婚式数の62・9%である。これは信者でない人同志の結婚が多いことが原因になっている。

因みに河原町教会は他宗教同志の結婚式はしていない。(それをする結婚式申込が殺到して本来の教会の仕事ができなくなるからと思われる)

5、教会学校

①中学生の教会学校が非常に困難のようである。31教会

(89) 31教会 生徒信徒 男111 女133 未洗者 男32 女60

(88) 29教会 生徒信徒 男103 女118 未洗者 男36 女149

②小学生の教会学校

(89) 46教会 生徒信徒 男357 女434 未洗者 男384 女601

(88) 49教会 生徒信徒 男381 女474 未洗者 男750 女1,008

上記の比較から明らかなように、生徒数が1989年は中学生、小学生とも非常に少なくなっているが、主に未洗者の数の半減(中学男子は10分の1)が上げられる。その原因を考えると考えられる。

京都司教区現勢調査報告 (1989年1.1~12.31)

司祭・修道士

()=志願者数

		司 祭		修 道 士	
		邦人	外人	邦人	外人
司 教		2	0		
教 区		17	0		
宣 教 会	メリノール	0	16	0	2
	グワダルベ	0	4		
	ザベリオ	0	1		
修 道 会	ヴィアートル	1	6	0	4
	エスコラピオス	0	5		
	カルメル	2	3	0(2)	0
	ドミニコ	2	1		
	マリスト	0	10		
	レデンプートル	0	7	1(1)	0
	フランシスコ	0	2	1	0
修 道 女	カプチン	1	0		
	ブレラトゥーラ・ベルソ ナリス オブスディ	1	1		
合 計		24	56	2(3)	6

施 設

社会福祉施設	病院	1	ベッド	300
	診療所	1	診療数	60,844
			診療数	4,748
	心身障害者施設	3	男子	145
			女子	157
	養護施設	1	男子	15
			女子	22
	保育園	1	男児	396
			女児	325
	老人ホーム	4	男子	56
女子			224	
福祉センター (含児童館)	1	男子	19,400	
		女子	22,440	

()=信者数

教 育 施 設	幼 稚 園	25	男 児	2,203(61)
			女 児	2,327(64)
	小 学 校	2	男 子	852(29)
			女 子	1,076(31)
	中 学 校	6	男 子	744(12)
			女 子	1,493(31)
	高 等 学 校	9	男 子	2,131(17)
			女 子	3,475(70)
	短 期 大 学	1	女 子	887(35)
	大 学	1	女 子	1,134(16)
養 護 学 校	1	男 子	27	
		女 子	36	
	学 生 寮	3	男 子	11
			女 子	35

()=信者数

一 般 施 設	センター・会館	12	施設利用人数	66,847
	寮(社会人)	1	男 子	6
	黙 想 の 家	1	施設利用人数	2,475
	働 く 人 の 家	2	〃	69
	カトリック書房	1	〃	13,500

()内は信者数だが、データをとっていない学校があり、人数がわからないので?印を記している

概 況

面 積: 17,990.21km²

(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)

人 口: 6,984,617人

信者総数: 20,617人

求 道 者: 258人

小 教 区: 47

巡回教会: 13

	邦人	外人
神学生	3	
聖母カテキスタ会	26	

修道女

()内は修練者及び志願者

	邦人	外人
イエズスの小さい姉妹の友愛会	3	0
ウイチタの聖ヨゼフ修道会	24(1)	4
幼きイエズス修道会	14	0
カルメル会	15(2)	0
カロンデレットの聖ヨゼフ会	8	6
汚れなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会	6	0
コングレガシオン・ド・ノートルダム	3	1
汚れなきマリア修道会	3	0
聖ウルスラ修道会	2	0
聖心のウルスラ宣教女修道会	7	2
聖ドミニコの宣教修道女会	6	0
聖ドミニコ女子修道会	9	0
聖母訪問会	34	0
スヴェール愛徳修道会	31	0
ノートルダム教育修道女会	58(3)	9
メリノール女子修道会	2	10
善きサマリア人修道会	6(1)	1
聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会	2	0
合 計	233(7)	31

伝道師(婦)

	男	女	合計
信 徒	4	13	17
修 道 者	0	7	7

小教区概況

	信 徒 数		ミ サ 参 加			求道者	洗 礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	総数	(1988年)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未
A.京都市															
1. 河原町	1,785	1,727	700	1,300	2,000	30	23	21	19	37	60	24	9	65	58
2. 伏 見	441	413	163	442	574	1	9	9	8	13	22	12	1	72	57
3. 桂	801	772	220	270	300	5	11	5	0	8	34	18	3	0	68
4. 衣 笠	593	594	213	388	676	12	8	11	4	33	23	23	9	39	97
5. 宇 津	32	21	12	0	14	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
6. 山 国	47	28	9	10	22	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
7. 北白川	214	230	130	210	210	9	11	3	12	21	16	14	2	29	11
8. 九 条	487	476	65	140	330	2	1	1	1	10	4	0	3	25	6
9. 小 山	252	248	60	80	100	1	3	3	0	0	2	0	1	36	0
10. 西 陣	301	302	80	150	200	1	4	1	7	30	10	13	3	34	7
11. 西 院	1,172	1,204	230	400	500	8	12	1	15	91	9	43	11	121	46
12. 高 野	418	415	170	270	350	9	8	6	18	37	13	14	10	37	22
13. 山 科	445	440	160	320	375	0	4	3	0	7	3	2	3	11	28
14. 桃 山	570	588	93	153	170	6	7	3	7	1	11	14	2	88	28
小 計	7,558	7,458	2,305	4,133	5,821	84	101	67	91	288	211	177	58	557	428
B.京都府南部															
15. 青 谷	251	248	80	100	120	0	0	2	0	0	3	0	1	4	3
16. 亀 岡	178	178	50	100	120	0	2	1	0	1	9	4	2	37	3
17. 長 岡	306	299	90	180	200	3	3	2	1	3	8	3	1	18	13
18. 園 部	139	239	50	180	300	0	3	0	0	0	0	0	3	2	15
19. 宇 治	624	609	130	300	320	5	2	8	1	0	14	8	1	45	21
20. 田 辺	437	425	150	200	300	10	6	4	4	2	10	6	2	61	18
21. 精 華	112	103	40	60	100	0	11	1	0	0	2	10	10	16	31
22. 八 幡	165	163	50	100	100	1	1	3	1	0	8	12	2	20	1
小 計	2,212	2,264	640	1,220	1,560	19	28	21	7	6	54	43	22	203	105
C.京都府北部															
23. 西舞鶴	375	385	130	230	330	0	9	6	0	8	14	22	10	89	30
24. 東舞鶴	278	273	70	140	170	3	2	2	1	9	3	2	0	0	3
25. 報恩寺	280	676	40	100	140	0	3	0	16	1	4	0	4	19	6
26. 綾 部	103	107	20	60	120	2	1	0	0	1	1	5	1	3	31
27. 宮 津	371	371	125	200	220	0	7	1	3	8	2	6	4	26	68
28. 網 野	150	149	60	80	125	1	2	1	0	0	0	1	1	19	3
29. 加 悦	300	303	60	120	140	0	2	1	1	1	3	1	8	13	0
30. 岩 滝	194	197	80	90	120	0	3	1	1	0	1	4	4	13	2
31. 福知山	115	111	20	50	70	0	3	0	0	0	2	0	1	0	5
32. 中舞鶴	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33. 大 宮	140	137	50	80	80	4	1	6	1	4	2	4	2	14	4
34. 峰 山	118	119	25	75	50	0	4	0	2	2	5	6	4	6	13
小 計	2,424	2,873	680	1,225	1,565	10	37	18	25	34	37	51	39	202	165
京 都 府 計	12,194	12,595	3,625	6,578	8,946	113	166	106	123	328	302	271	119	962	698

小教区概況

	信 徒 数		ミ サ 参 加			求道者	洗 札		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	総数	(1988年)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未
D.滋賀県															
35. 彦 根	281	289	68	129	168	0	1	0	1	3	10	19	0	2	0
36. 草 津	785	769	228	514	488	6	6	8	17	3	20	16	2	105	0
37. 長 浜	90	90	15	37	58	4	0	1	0	0	0	1	0	9	51
38. 大 津	503	499	200	500	550	15	6	6	16	4	10	18	0	104	28
39. 唐 崎	158	165	60	120	130	2	0	1	0	4	11	18	1	34	38
40. 安曇川	42	37	13	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0
41. 甲 賀	37	37	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	1,896	1,886	599	1,300	1,394	28	13	16	34	14	56	72	3	254	117
E.奈良県															
42. 奈 良	882	833	300	450	800	42	7	10	5	22	41	9	3	98	144
43. 富 雄	338	328	120	170	170	1	4	1	12	6	18	12	1	54	11
44. 郡 山	424	416	120	230	230	10	2	1	2	2	20	12	3	22	35
45. 高 田	435	420	120	200	270	0	1	6	0	5	9	12	2	38	54
46. 西大和	208	195	60	100	250	2	0	5	0	2	16	4	0	25	13
47. 八 木	278	275	80	150	150	3	4	2	5	2	10	0	0	60	0
48. 御 所	159	161	70	80	200	0	2	2	0	1	9	10	5	17	96
49. 登美ヶ丘	513	493	150	300	650	4	14	7	45	10	20	12	5	65	386
小 計	3,237	3,121	1,020	1,680	2,720	62	34	34	69	50	143	71	19	379	739
F.三重県															
50. 伊 勢	577	574	50	170	280	4	4	5	4	7	3	4	2	16	0
51. 桑 名	215	219	55	103	85	0	0	3	1	0	13	0	1	11	0
52. 松 阪	204	203	120	200	270	10	10	0	2	14	6	8	18	0	12
53. 尾 鷲	57	52	35	40	65	0	0	2	0	2	3	0	0	0	0
54. 鈴 鹿	255	262	70	130	170	13	1	3	0	11	6	13	3	52	11
55. 亀 山	74	66	20	40	50	1	0	0	0	0	8	0	0	9	6
56. 津	409	405	170	288	360	8	3	2	10	17	13	13	1	37	27
57. 久 居	147	143	60	80	120	0	1	1	1	0	1	0	0	22	2
58. 上 野	93	85	55	75	100	3	5	1	0	1	6	4	0	14	29
59. 四日市	726	702	545	650	830	13	8	8	0	14	31	14	0	39	28
60. 名 張	137	130	57	93	102	3	2	1	2	0	15	11	0	14	3
小 計	2,894	2,841	1,237	1,869	2,432	55	34	26	20	66	105	67	25	214	118
総 計	20,221	20,443	6,481	11,427	15,492	258	247	182	246	458	606	481	166	1,809	1,672

一人一人が 広報担当者

磯野真知子

一方的に書いてすみません。なんだか最近、こんな気持ちです。

さびしい、むなししい、わびしい。どうしてこんな気持ちになるのか、ちよつと自分の中で整理してみた。

私は、教区時報の編集をしています。編集のことなど何もしらずにやり始めて、まる4年。

技術面はぜんぜん素人です。ですから、皆様には、多々ご迷惑をかけていると思います。読んでいただけるような紙面、内容

づくりをあれこれ考えてきましたが、最近いきづまりを感じます。意欲的に取り組んだつもりでも

どうも手がたえが自分の中にありません。どうしてだろう。毎日、毎日

おわれながらやって、じつくり考えずにしているからだろうか。いえ、考えないでやっているってことはない。編集会議で「こんなこと必要じゃないか、信徒の間ではこんな話を聞きます。それじゃ、もっと詳しく載せましょう」という具合にいろいろ話し合っ

が、まだ質問をうけるというのは、教区時報のつくり方が悪いのでしょうか。誰が良くて、誰が悪いという問題じゃないと思いますが、誰かがしてくれると思わないで一人一人が広報担当者であるという自覚をもってもらいたいと思います。そして、このむなしさ、わびしさをいろいろなところで働く人々が感じないよう、私たちはそれぞれの活動をささえていく役割ももっていると思います。

みなさんは、お知らせだけが必要ですか、司祭評や宣教司牧評の報告だけでいいですか、何が必要ですか。私たちは何を目標に教区時報をつくり、必要とされているのでしょうか。なんだか、一人ぼっちのようでさびしい、むなししい、わびしい気持ちです。

私たちにも反省点はたくさんありますが、もっと教区時報を透明なものにしていくには、さらに教区の活動を透明にしていくには、教区時報だけではできません。話し合いをされている場の一人一人の人の関心と行動によるものだと思います。教区時報もそのためにさらに邁進していきたいと思

「パイプのつまり」と言われますが誰がつまらせているのでしょうか。宣教司牧評で優先的に取り組まれていることに、教区時報もその路線で記事づくりをしてきました。だけど「宣教司牧評っていったいどんなところですか」という質問をうけます。なぜですか。教区時報でその名はたびたびできます

す。そしてテレビコマーシャルを見て思わず、食べたい、ほしいと思うように、私たちも、もっと社会にアピールしませんか。私たちは本当に多くの魅力をもっていると思いますよ。

司祭異動のお知らせ

京都北部―レデンブートル会
網野、丹後大宮、峰山主任

M・ウオルテン(前、網野、加悦)

加悦教会主任

A・デユフル(前、岩滝教会)

宮津、岩滝教会主任

R・ジラル(前、宮津教会)

西舞鶴、東舞鶴教会主任

I・ルメ(前、西舞鶴)

西舞鶴教会助任

井田 昭(前、鎌倉雪ノ下助任)

綾部教会主任

堀 興雄(前、吹田教会)

福知山、報恩寺教会主任

M・カリエ(前、大宮・峰山)

奈良―マリスト会

大和郡山教会主任

J・ウオルシュ(前、大和高田)

大和高田教会主任

J・ルーニー(研修)

奈良教会

J・ヒル(前、大和郡山)

J・ヒル(前、大和郡山)

語って下さい

パンがふくらむ

毎日がふくらむ

「ちゃりこん」から学んだこと

京都南部ウオーカソンを企画してきた青年たちの中から、一人を現地に送ろうという話がもちあがった。「旅費はどうするの?」「コンサートでもして集めたら?」「やろう!」お酒の席での話が数日後には計画に移っていた。

その背景には、半分余りウオーカソンの準備をやってきて手ざくりながら、一歩ずつ前進(成長)してきたという体験があった。計画の段階でほんとにできるのだろうか、という不安がなかったわけではない。しかし、結果を予測する前に、やってみなければわからない、失敗を恐れていては何ごとも始まらない、という青年たちの特権ともいえる感覚で実現へと向かった。

あんてな ((((((()))

広告をあつめ、チケットを販売する一方で、出演者との交渉(企画側にもかなり出演者がいた)当日の準備も進められた。そしていよいよ当日の2月25日、会場となった北白川教会のホールには、たくさんの人達が集まった。

行事に追われがちな教会



((())) あんてな

の中で、自分たちがやりたいと思ったことを計画し実行していく。そんな時青年たちはほんとうにいきいきしている。当の青年たちにさえ大きな不安があったのに、資金面、会場等、さまざまな形でたくさんの人達が支えてくれた。信頼して支援してくる人達に應えるためにも青年たちはがんばった。1プラス1が2ではなく10にも100にもふくらむことを実感した。出演者も観客もスタッフも楽しい時間を共有し、心に暖かいものを持って帰ることができたと思う。青年たちにとって学ぶことの多かったこのコンサート。神さま、ありがとう!

青年センター事務局移動

4月1日から、青年センター事務局を教理センター二条オフィスの一室をお借りして仮設置します。

コトバ(1)

はじめに「ことば」があった。「光あれ」そして光が生れた。「みことば」はすべての物を造り出した。

(創一章)

はじめに「みことば」あり、「みことば」は神と共にあり「みことば」は神であった。(ヨハネ一1)「ことば」や「文字」が軽んじられるかに見える昨今、この創世記とヨハネの福音書の最初のことばをどう受けとめたらよいのでしょうか。神のことばは、生命なんだよ、創造の力なんだよ、神御自身をみことばと言っているんだよ。それでも、ことばはいりませんか。いや沈黙の交わりこそ、本当の交わり、以心伝心、不立文字こそ言葉より行いをもつて接しなければならぬ。いや、みなごもつとも。

だけど、何も言葉を語らなくて私の心本当に解つてくれますか。対話をしなくなった夫婦や親子は一番深い交わりをしているわけだ。失礼ですけれど聲啞者の方は一番何でも解つていて幸せなわけだ。政治交渉、両首脳が会ってにこにこしていればよい訳だ……少し感情的になりましたかね。

言葉というのは、言の端。言は事

ちよつとあなたも

ちよつとわたしも (27)

事は本。ある本質を表わすために言葉を使います。言葉がなければ事は伝わらないのです。

言葉はコトの秘跡です。

イエズスキリストの人間性は、神のコトを表わすコトバです。

イエズスキリストは御父である神を表わす秘跡です。

このコトバにより神に出会います。このコトバにより生命を得ます。

言葉を大切にしたいと思えます。みことばである御子キリストは、言葉を行いをもって、神の国を告げ知らせて下さったのです。使徒達はこのみことばの忠実な奉仕者でした。

創世記に出てくるダバルを、コトバと訳してよいのか問題です。これがギリシャ語でロゴス、ラテン語で大文字のヴェルブンとなりました。その訳がすでに問題なのです。ヘブライ語のダバルは神の「手」と訳すべきだと言う人もいます。

みことばはただ語られる言葉だけでなく、創造する力、生命の力だからです。

今回申し上げたかったのは、実は一つの言葉がいろんな内容を持ち得る事、又使われ方をすることでした。これがパイプのつまりの大きな要因の一つだと言う事も。(M)

お知らせ

教区スケジュール

4月

1日 京都結婚互助会相談情報

交換及び相談室開設

(カトリック会館PM1時~3時)

9日 洛星中高一学式

20日 SVP中央理事会(九条教会)

21~22日 部落問題委員会合宿・

現地学習(桑名)

29日 南山城近隣小教区合同

運動会(聖母学院グラウンド)

●教区事務所よりお知らせ

教理センター所長人事異動

新所長 柳本昭師を任命

前所長 松本三朗師辞任。

なお、柳本師の住所は今まで通り西院教会です。

移転のご案内

京都カトリック青年センターは下記に移転します。

●仮設置場所

京都カトリック教理センター内

〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入

☎075-752-4838

▼個人指導による黙想会のご案内

日時 5月3日~6日

場所 カトリックの聖ヨゼフ修道会京都修道院

ヘルパー 戸田三千雄師(フランスシスコ)

他3名

対象 祈りたい方・祈りを深めたい方(女性のみ)

費用 12,000円

持参品 旧新約聖書、筆記用具など

▼参加希望の方は申込書に2,000円を添えて申込み下さい

〒606 京都市左京区下鴨中川原町110カトリックの聖

ヨゼフ修道会 ☎075(781)0669

▼第79回 祈りのコース

日時 5月11日~13日

場所 ウィチタ聖ヨゼフ本部修道院

〒616 京都市右京区竜安寺御陵ノ下町1

☎075(462)0754

費用 16,000円

定員 17名

申込〆切 4月30日(月)必着

持参品 聖書、筆記用具、洗面用具、その他必要なもの

▼教会学校教師会のご案内

教会学校リーダー養成研修会

日時 8月18日(土)~19日(日)

場所 唐崎メリノールハウス

テーマ

秘跡のカテケージス

講師 シスター景山あき子援助修道会

▼詳細はおつてお知らせ致します。



聖書講座シリーズ6

福音を生きる

—キリストの視点を求めて—

教会の中で「信仰と生活が離れている」という声が聞かれます。第1回福音宣教推進全国大会(NICE)でも、この問題が取り上げられました。この聖書講座は聖書が好きな人になる講座1~4期、ヨハネ福音書講座に続く、聖書講座シリーズの一環です。今回は特に、聖書を知識として学ぶのではなく、神様は私たちに今、毎日どのようなように生きることを求めておられるのか。また、さまざまな現代社会の現実の中で私たちにどのような役割を与えて下さっているのか、ということと共に聖書を味わいながら、考えていけるよう計画いたしました。多くのご参加を、お待ちしております。

▼対象どなたでも▼期間5月~10月(6ヶ月間8月休講)▼日時毎週1回(水曜日AM7時~12時30分)全20回▼場所カトリック会館6F▼費用5,000円(当日受付)▼申込〆切4月20日(金)▼申込・問合せ京都カトリック教理センター内「聖書講座シリーズ」係Fr柳本・Sr福島☎075(752)0057▼主催京都教区聖書使徒職委員会



4月のこの時期、あちこちの駅で見送りの人の姿を見る。期待に胸ふくらませ、社会へ学校へ。また会社の中では転勤の人も。出発進行。私はどこにも行かないけどいつも心機一転、新しい気持ちで出発進行。

(い)

